

第80期

期 末 報 告 書

(平成24年4月1日から)
(平成25年3月31日まで)



中日本興業株式会社

平成25年6月

株主の皆様へ

中日本興業株式会社

代表取締役社長 服部 徹

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、当社は第80期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績ならびに事業の概況につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

目 次

事業の概況	2
連結貸借対照表	5
連結損益計算書	6
貸借対照表	7
損益計算書	8
会社の概要／役員	9
「株主ご優待券」について	10
株主メモ／「復興特別所得税」に関するご案内	

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の下振れなどを背景とした企業収益の悪化、個人消費の低迷等が懸念されておりましたが、終盤には円安や国の経済対策等により、景気回復の基調が見られました。しかしながら、中小企業や個人のレベルにおいては、まだまだ実感には至らず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループでは、引き続き経費削減に取り組むとともに、経営理念である「より良い商品を よりよい環境で より楽しく」を実践すべく、顧客満足度の高いサービスの一層の充実を図り、お客様に選んでいただける施設、映画、商品のご提供に努めてまいりました。

この結果、売上高は34億26百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は1億48百万円、経常利益1億56百万円、当期純利益1億7百万円となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

【シネマ事業】

映画業界は平成23年には大きく落ち込んだものの、平成24年は邦画やアニメが相次ぎ高稼働し、全国入場人員は前年比7.2%増の1億55百万人、興行収入につきましても、前年比7.7%増の1,951億90百万円となりました。しかしながら、興行収入全体の占める洋画のシェアは34%程度に留まり、洋画につきましても、引き続き厳しい状況が続いております。

また、スクリーン数におきましては、飽和状態が続いており、前年より49スクリーン減少いたしました。1スクリーンあたりの興行収入は依然として低迷し、厳しい環境が続いております。

このような状況のなか当事業では、昨年7月には21スクリーン全ての映写機のデジタル化を完了し、いつまでも変わらないクオリティで作品をご提供し続けることが可能となるとともに、映写室の省人化による人件費の削減にも寄与いたしました。

また、デジタル化の特性を活かした柔軟な番組編成を行った結果、ピカデリーにて8月に公開いたしました高倉健主演の「あなたへ」では、公開6週間の封切興行では、動員・興行収入とも全国2位の成績を収めることができました。

さらに、一部のスクリーンにおいて最新映像技術である「ハイ・フレーム・レート3D」を採用し、魅力ある映像を体験していただける環境を整えてまいりました。

当期は、洋画139本、邦画92本、アニメが44本、ODS(映画以外のデジタルコンテンツ)が24本の合わせて299本公開し、主な上映作品としましては、洋画では、5月公開の3D映画「メン・イン・ブラック3」、6月公開の3D映画「アメージング・スパイダーマン」、8月公開の3D映画「アベンジャーズ」、12月公開の「レ・ミゼラブル」、邦画では、7月公開の「BREVE HEARTS 海猿」、7月公開の「ヘルター・スケ

ルター」、8月公開の「あなたへ」、9月公開の「踊る大捜査線 THE FINAL 新たなる希望」、アニメでは、7月公開の「おおかみこどもの雨と雪」、11月公開の「エヴァンゲリオン 新劇場版：Q」、12月公開の「ONE PIECE FILM Z」、ODSでは、「MET ライブビューイング」、「山下達郎 シアター・ライブ PERFORMANCE 1984-2012」、ゲキ×シネ「髑髏城の七人」などの番組を編成いたしました。

また、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」におきましては、第3回「午前10時の映画祭 何度見てもすごい50本」を上映し、多くの映画ファンに足をお運びいただきました。

この結果、当事業では、売上高は24億1百万円（前年同期比11.7%増）、営業利益は1億16百万円となりました。

【リラクゼーション事業】

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」におきましては、地域に密着したイベントの実施や新メニューの開発を図り、順調に推移いたしました。

温浴部門の名古屋市千種区の「太平温泉 天風の湯」および愛知県江南市の「松竹温泉 天風の湯」は、近隣企業等への営業活動など販売促進の強化を図り、客数を伸ばす施策を積極的に実施してまいりました。

また、2店舗とも店舗内レストランを業務委託とし、リニューアルも行い、お客様により満足いただけるよう、施設一体となって運営に努めてまいりました。

併せて、様々な経費削減を行いました。光熱費などの値上げ等が影響し、依然として厳しい状況でありました。しかしながら、実施してきました施策が徐々に功を奏し、利益を確保することができました。

この結果、当事業では、売上高は8億41百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は17百万円となりました。

【アド事業】

当事業におきましては、イベントが少なかったこともあり、売上は減少いたしました。継続的に実施してきました積極的な営業活動によりサイン工事や映画関連の宣伝材料の受注等ができ、利益率の向上に貢献いたしました。

この結果、当事業では、売上高は1億82百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益は1百万円となりました。

今後の見通し

今後のわが国経済は、円安や株価の上昇など景気は全般的に回復基調になり、個人の消費マインドは改善しつつありますが、先行き不透明な状況は依然として続いております。

当社グループにおきましても、お客様目線に立った一層のサービスの充実を図り、感動をお届けできる映画、商品のご提供に努めてまいります。

シネマ事業では、デジタル化を活かした多彩かつ機動力のある番組編成を行い、良質な作品を提供することにより、稼働率の向上に努めてまいります。ならびに、歌舞伎やオペラ、舞台などのコンテンツを上映するODSにつきましては、入場料金が映画と比較して高価であることから、映画との共存を図り、売上向上に寄与できるよう情報収集および編成に努めてまいります。

第81期の作品といたしましては、洋画では公開中の「アフター・アース」、8月公開の「ローン・レンジャー」、および3D映画「マン・オブ・スティール」、12月公開の「ホビット スマウグの荒らし場」、邦画では、6月公開の「真夏の方程式」、11月公開の「清須会議」、12月公開の「永遠の0」、アニメでは、7月公開の「モンスターズ・ユニバーシティ」、および「風立ちぬ」、11月公開の「かぐや姫の物語」、ODSでは、「シネマ歌舞伎」、「METライブビューイング」、さらに、デジタルにて上映する「新・午前10時の映画祭」など、幅広いジャンルの良質な作品を予定しております。

また、名古屋駅前に平成28年末に竣工予定の「(仮称)新・第2豊田ビル」に出店するシネマコンプレックス(7スクリーン、1,100席の予定)につきましては、具体的な設計、運営計画を立案中であり、今後の最新設備、技術の導入についても世界の業界動向に注視し、慎重に進めてまいります。

リラクゼーション事業では、引き続き地域密着型の運営を心掛け、店舗独自のイベントの実施やサービスの充実を図り、近隣企業等への営業も積極的に行ってまいります。

また、「覚王山カフェJi.Coo.」につきましては、本年7月でオープン10周年を迎えます。イベント、メニューの一層の充実を図り、いつまでもお客様にくつろいでいただける店舗創りに努めてまいります。

アド事業では、サイン工事や得意分野の映画宣伝関連をさらに伸ばし、積極的な営業展開を図り、適正な営業利益の確保に努めてまいります。

サービス業を営んでいる当社グループでは、お客様に選ばれる施設を目指し、一層の精進をしてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	944,807	流 動 負 債	649,446
現金及び預金	579,461	支払手形及び買掛金	328,603
受取手形及び売掛金	96,211	1年内返済予定の長期借入金	147,852
有 価 証 券	140,145	リ ー ス 債 務	32,462
た な 卸 資 産	6,273	未 払 金	2,017
繰 延 税 金 資 産	31,546	未 払 法 人 税 等	12,047
そ の 他	91,812	未 払 消 費 税 等	19,063
貸 倒 引 当 金	△644	未 払 費 用	52,590
		役 員 賞 与 引 当 金	4,500
		賞 与 引 当 金	12,873
		そ の 他	37,436
固 定 資 産	3,769,805	固 定 負 債	966,214
有 形 固 定 資 産	(2,718,254)	長 期 借 入 金	351,329
建 物 及 び 構 築 物	2,239,754	リ ー ス 債 務	127,315
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	216,361	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	116,347
工 具、器 具 及 び 備 品	82,985	退 職 給 付 引 当 金	57,476
土 地	179,153	資 産 除 去 債 務	50,937
無 形 固 定 資 産	(55,094)	受 入 保 証 金	248,652
電 話 加 入 権	1,147	繰 延 税 金 負 債	14,157
ソ フ ト ウ ェ ア	53,947	負 債 合 計	1,615,661
投 資 其 他 の 資 産	(996,456)	純 資 産 の 部	
投 資 有 価 証 券	380,614	株 主 資 本	2,991,300
差 入 保 証 金	610,291	資 本 金	270,000
長 期 前 払 費 用	5,550	資 本 剰 余 金	13
		利 益 剰 余 金	2,731,715
		自 己 株 式	△10,428
		其 他 の 包 括 利 益 累 計 額	107,650
		其 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	107,650
		純 資 産 合 計	3,098,951
資 産 合 計	4,714,612	負 債 純 資 産 合 計	4,714,612

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成24年4月1日から
平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		3,426,203
売 上 原 価		1,593,680
売 上 総 利 益		1,832,523
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,684,192
営 業 利 益		148,330
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	7,522	
協 賛 金 収 入	11,400	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	649	
そ の 他	2,871	22,443
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	10,028	
そ の 他	4,437	14,465
経 常 利 益		156,307
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	30,756	
固 定 資 産 売 却 損	998	31,754
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		124,552
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	10,706	
法 人 税 等 調 整 額	6,643	17,350
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益		107,202
当 期 純 利 益		107,202

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	790,073	流 動 負 債	566,718
現金及び預金	468,274	買掛金	286,672
売掛金	66,557	1年内返済予定の長期借入金	147,852
有価証券	140,145	リース債務	30,207
商品	4,354	未払法人税等	11,494
前払費用	22,454	未払消費税等	11,686
預け金	66,600	未払費用	35,836
繰延税金資産	20,594	役員賞与引当金	4,500
その他	1,513	賞与引当金	7,560
貸倒引当金	△422	その他	30,909
固 定 資 産	4,318,669	固 定 負 債	944,811
有 形 固 定 資 産	(3,139,211)	長期借入金	351,329
建物	2,125,459	リース債務	121,301
構築物	84,441	役員退職慰労引当金	112,536
機械装置	194,216	退職給付引当金	44,597
器具備品	65,925	資産除去債務	48,471
土地	669,168	受入保証金	252,852
無 形 固 定 資 産	(45,405)	繰延税金負債	13,723
電話加入権	861	負 債 合 計	1,511,530
ソフトウェア	44,544	純 資 産 の 部	
投 資 其 他 の 資 産	(1,134,052)	株 主 資 本	3,489,611
投資有価証券	380,418	資本金	(270,000)
関係会社株式	45,000	資本剰余金	(13)
関係会社長期貸付金	115,000	資本準備金	13
差入保証金	589,336	利益剰余金	(3,230,026)
長期前払費用	5,447	利益準備金	67,500
貸倒引当金	△1,150	その他利益剰余金	3,162,526
		配当準備積立金	447,667
		別途積立金	2,380,000
		繰越利益剰余金	334,858
		自 己 株 式	(△10,428)
		評価・換算差額等	107,601
		その他有価証券評価差額金	(107,601)
資 産 合 計	5,108,743	純 資 産 合 計	3,597,213
		負 債 純 資 産 合 計	5,108,743

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成24年4月1日から
平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売 上 高		2,589,924
売 上 原 価		<u>1,396,110</u>
売 上 総 利 益		1,193,813
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		<u>1,076,977</u>
営 業 利 益		116,836
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	10,189	
協 賛 金 収 入	6,400	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	129	
雑 収 入	13,737	30,456
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	10,028	
雑 損 失	3,922	<u>13,950</u>
経 常 利 益		133,342
特 別 損 失		
固 定 資 産 売 却 損	998	
固 定 資 産 除 却 損	30,756	<u>31,754</u>
税 引 前 当 期 純 利 益		101,587
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	10,153	
法 人 税 等 調 整 額	6,375	<u>16,528</u>
当 期 純 利 益		85,058

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

会 社 の 概 要 (平成25年 3月31日現在)

設 立	昭和29年 7月23日
資 本 金	270,000,000円
発行済株式総数	538,874株 (自己株式1,126株を除く)
株 主 数	2,802名
従 業 員 数	26名
本 店	名古屋市中村区名駅四丁目 7番 1号
事 業 所	ピカデリー 名古屋市中村区 ミッドランドシネマ 名古屋空港 愛知県西春日井郡豊山町 ミッドランド スクエア シネマ 名古屋市中村区
連 結 子 会 社	中日本商事株式会社 名古屋市中村区名駅四丁目 7番 1号 覚王山カフェJi. Co. 名古屋市千種区 太平温泉 天風の湯 名古屋市中川区 松竹温泉 天風の湯 愛知県江南市 中日本エージェンシー 名古屋市中村区

役 員 (平成25年 6月25日現在)

代表取締役社長	服 部 徹	
取 締 役	原 田 克 己	営業本部担当・営業本部本部長、 興行部上席部長
取 締 役	三 田 則 男	経営管理本部担当・経営管理本部本部長、 経営企画部上席部長、経理部上席部長
取 締 役	水 尾 健 一	(社外取締役)
取 締 役	大 谷 信 義	(社外取締役)
常 勤 監 査 役	佐 藤 桂 一	
監 査 役	新 井 紀 夫	(社外監査役)
監 査 役	岡 本 安 史	(社外監査役)
執 行 役 員	貴 田 吉 晴	経営管理本部担当・経営管理本部副本部長、 経営企画部部長、総務部部長
執 行 役 員	小 塚 康	営業本部担当・営業本部副本部長、 興行部部長

「株主ご優待券」について

当社の株式1単元（100株）以上を期末（3月末日）および中間期末（9月末）に保有している株主の皆様に対し、次の要領で「株主ご優待券」を発行いたします。

3月末現在の株主の皆様には、8月、9月、10月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および11月、12月、翌年1月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、6月の定時株主総会終了後、決議ご通知に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

9月末現在の株主の皆様には、2月、3月、4月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」および5月、6月、7月、三ヶ月間の中でご利用いただける「株主ご優待券」を発行し、12月初旬に中間報告書に同封のうえ株主の皆様にご送付いたします。

発行基準

100株以上	5枚（使用期間三ヶ月）	半期	10枚
200株以上	10枚（使用期間三ヶ月）	半期	20枚
300株以上	15枚（使用期間三ヶ月）	半期	30枚
400株以上	20枚（使用期間三ヶ月）	半期	40枚
500株以上	25枚（使用期間三ヶ月）	半期	50枚
1,000株以上	40枚（使用期間三ヶ月）	半期	80枚
2,000株以上	50枚（使用期間三ヶ月）	半期	100枚
4,000株以上	75枚（使用期間三ヶ月）	半期	150枚

ご利用要領

- 「株主ご優待券」を直営 映画館・共同事業体運営 映画館にてご利用の場合、無料入場券としてご利用できます。（1枚で1名様有効）

直営 映画館	住所・電話番号
ピカデリー	名古屋市市中村区名駅4-9-8 センチュリー豊田ビル2F (052) 551-5461
ミッドランドシネマ 名古屋空港	愛知県西春日井郡豊山町豊場林先1-8-501 エアポートウォーク名古屋内 (0568) 39-3911

※3D映画については、「ミッドランドシネマ 名古屋空港」でのみ3D鑑賞料金（400円）をご負担のうえ、ご利用可。

共同事業体運営 映画館	住所・電話番号
ミッドランド スクエア シネマ	名古屋市市中村区名駅4-7-1 ミッドランドスクエア 商業棟5F (052) 527-8808

※3D映画については、ご利用不可。

- 「株主ご優待券」を子会社運営 スーパー銭湯にてご利用の場合、「株主ご優待券」1枚と下記両店共通の「全日ご招待券」3枚を、各店の受付にて交換いたします。（「全日ご招待券」の有効期限は、交換日の翌月末日となります。）

子会社運営 スーパー銭湯	住所・電話番号
太平温泉 天風の湯	名古屋市市中川区平戸町2-1-10 (052) 355-4126
松竹温泉 天風の湯	愛知県江南市前飛保町栄378-15 (0587) 53-4126

株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日・中間配当金9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座口座管理機関	〒137-8081
同連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告掲載新聞	中部経済新聞
上場取引所	名古屋証券取引所 第二部
証券コード	9643
インターネットアドレス	http://www.nnk-cinema.co.jp

【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続きは、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとされておりますので、お取引のある証券会社等にご照会ください。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行で承っております。特別口座の一部お手続き用紙のご請求は、次のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

「復興特別所得税」に関するご案内

「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法（平成23年法律第117号）」の施行に伴い、平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る所得税に対し、平成25年1月1日から平成49年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることになりましたので、ご案内いたします。

平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率は以下のとおりとなります。

	平成24年12月31日まで	平成25年1月1日から平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所 得 税	7%	7%	15% (※)	15%
復興特別所得税	—	0.147%	0.315%	—
住 民 税	3%	3%	5% (※)	5%
合 計	10%	10.147%	20.315%	20%

(※) 証券税制における軽減税率の適用終了による税率の変更です。

- 源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- 本ご案内は、上場株式等の配当等に係る復興特別所得税について、一般的な情報をご案内したものであり、この内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄りの税務署、税理士等にお問合せください。
- 本ご案内は平成24年12月時点の情報をもとに作成しております。